

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 80 号

## Relationships between psychological safety and work engagement in fitness club employees

(フィットネスクラブ従業員における心理的安全性とワーク・エンゲイジメントに関する研究)

稲葉 健太郎 (いなば けんたろう)

博士 (スポーツ健康科学)

### 論文内容の要旨

**研究の目的** 本研究は、フィットネスクラブ従業員における心理的安全性とワーク・エンゲイジメントの関連を明らかにすることを目的とした。

**対象及び方法** 調査対象は日本のフィットネスクラブの従業員 429 名 (男性 147 名、女性 282 名) であった。調査方法は WEB フォームによる質問紙調査を用いた。調査期間は 2020 年 8 月から 9 月までであった。調査には、チーム心理的安全性尺度とユトレヒト・ワーク・エンゲイジメント尺度の短縮版 (9 項目)、及び職業性ストレス簡易調査票のうち、仕事の資源に関する項目を用いた。

**結果** 相関分析の結果、心理的安全性はワーク・エンゲイジメント ( $r=.415$ ,  $p<.01$ )、同僚からのサポート ( $r=.469$ ,  $p<.01$ )、上司からのサポート ( $r=.519$ ,  $p<.01$ ) と有意な正の相関があることが示された。また、ワーク・エンゲイジメントは、仕事の適性度 ( $r=.620$ ,  $p<.01$ )、仕事の満足度 ( $r=.649$ ,  $p<.01$ )、上司からのサポート ( $r=.422$ ,  $p<.01$ ) と有意な正の相関があった。ワーク・エンゲイジメントと個人属性、及びその他の要因についてカイ二乗検定を行った結果、個人属性では職位のみが有意差 ( $p<0.05$ ) を示し、心理的安全性と仕事の資源についてはすべての要因が有意差 ( $p<0.01$ ) を示した。ワーク・エンゲイジメントを目的変数とした多重ロジスティック回帰分析の結果、仕事の満足度 (OR : 6.93, 95%CI : 2.63~18.31) と心理的安全性 (OR : 1.80, 95%CI : 1.01~3.21) との間に有意な関連が認められた。

**結論** これらの結果から、フィットネスクラブ従業員の間では、仕事への関与と心理的安全性が関連しており、心理的安全性は仕事への関与と同僚や上司からのサポートによって媒介されていることが示唆された。